

★ 家族例会 ★ 平成 22 年 6 月 6 日 (日) 長崎大島 (大島アイランドホテル)



かわら版

久留米リンドウ
ライオンズクラブ



第 4 回 5 R 会 (通算 190 回) 開催

去る六月十二日(土)に我がクラブのホストとして、L・井上会長の力強い歓迎の挨拶とともに開催され、式次通りに進んでいった。

過去 3 回と違って今回は、現地区役員及びクラブ三役、並びに新地区役員と各クラブの新三役の約一八〇名が勢揃いし、盛大な雰囲気の中で新旧懇親会も催した。ステージでは、L・隈のテナーサククスが奏でるラテンミュージックが流れ、出席の地区役員他皆様方より大評判で、「さすがにりんどウ L C の結束力とノミ(飲み)ニケーションは素晴らしい」と口々に喜んでいる姿が印象的でした。



徒然なるままに 老青江

シャネル・エルメス・ヴィトンなどのブランド品や、ジャガー・ベンツ・BMW などの高級車を持つことは、人々の注目を集め、優越感を味わい、自分に自信が持てない人間にとっては便利な自己満足ツールと言えます。

例えば、ルイ・ヴィトンのバックを持つっていると、その価値が自分のランクと重なり合って、何となくそのバックに似合った生活を気取る。

このような実力のともなわれないモノに頼るといふことは、普通は軽蔑される場合が多いが、手段としてそのような人間の心理を利用する方法もないわけではありません。

今の高校生がブランドに強い興味を示すのは、はっきりと「自分はこういう人間です」と言うことを他人に伝えたい、そして認めて欲しいというある意味では自然な欲求の表れではないかと感じます。

「学生の分際で贅沢だ」「どうやってお金を作ったんだ」と批判を受けますが、少なくとも自分をかっこよく見せたい、より素敵な女性になりたいという前向きな姿勢と可能性を感じられます。